



令和6年2月15日  
旭川開発建設部

## 旭川ブロック 優秀賞、奨励賞受賞団体を表彰

～「わが村は美しく－北海道」運動第11回コンクール表彰式～

令和6年2月5日にお知らせしました「わが村は美しく－北海道」運動第11回コンクール旭川ブロック受賞団体への表彰式の日程等について、日程調整中であった優秀賞受賞団体への表彰式の日程等が下記のとおり決定しましたので、お知らせします。また、奨励賞の表彰式について、開始時間に変更がありましたので、併せてお知らせします。

### 記

#### 【優秀賞表彰式】

受賞団体：名寄市立大学援農ボランティアの会  
日 時：令和6年2月22日（木） 9：00～  
場 所：名寄市立大学（名寄市西四条北8丁目1）

#### 【奨励賞表彰式】

受賞団体：辰巳農園  
日 時：令和6年2月21日（水） 10：00～  
場 所：上川町役場（上川町南町180番地）  
※ 上記受賞団体の活動については、別紙を参照してください。

#### 【「わが村は美しく－北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との想いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しく－北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou\\_sin/ud49g7000000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html)



#### 【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

土地改良情報対策官 工藤 幸大 (0166-32-3449)

土地改良情報対策官付 事業専門官 泉 公生 (0166-32-3479)

旭川開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式X（旧Twitter）アカウント @mlit\_hkd\_as





参加認定証交付式の様子

「わが村は美しく一北海道」運動第11回コンクール応募団体

## 名寄市立大学援農ボランティアの会

**【名寄市】**

名寄ならではの環境で農作業 +  $\alpha$  の経験・体験を

### 【はじめは？】

名寄市の農業は、もち米、アスパラ、スイートコーンなど、全国でも有数の生産量を誇る作物が多くありますが、近年は農業従事者の高齢化やパート作業員の不足が進み、特産物の生産を維持することが難しくなってきています。また、名寄市には保健医療福祉の専門職を養成する名寄市立大学がありますが、農業との接点は少なく、学生に向けて農業アルバイトを募集しても応募が無いような関係性でした。

そこで単なる農業アルバイトではなく、学生と農業のつながりを作り出せるような取組が必要だと感じ、大学や農協、市の担当者が集まって話し合いを重ね、その結果、食農教育という学びも含めた援農ボランティア活動とすれば、お互いにとって有益な関係性を作ることができるのでないかと考え、協力して組織(環境)作りを行うことになりました。

### 【おもな活動】

学生が援農有償ボランティアとして農作業に従事するための環境作りが主な活動です。

学生が普段行っているアルバイトと農業アルバイトはかなり環境が異なるため、その差を埋めるための工夫を行っています。例えば、作業に必要な道具（長靴や雨具など）の貸出や参加条件の統一（有償水準や休憩、送迎など）です。

そのほか、学生の募集は名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター、農家の募集はJA道北なよろ、貸出品の資金拠出は名寄市とJA道北なよろが担当するなど、各団体が分担して活動を行っています。



収穫作業の様子

### 【ここが自慢】

農業アルバイトは主にお金を通じた関係となり、農家にとっては不慣れな学生を高めの賃金で雇うことになり、学生にとってはそこそこの賃金で大変な外作業を行うことになります。逆に無償ボランティアは心の報酬だけとなり、農家は繁忙期に多くのコミュニケーションを取る必要があり、受入農家も参加する学生も限られます。

そこで本活動では、「有償」援農ボランティアとすることで、双方のバランスを取っています。

農家は賃金に加えて食農教育の機会（経験や交流）を提供することで、学生は賃金以上の報酬を得ることができますため、参加者も安定して確保できています。

現在では毎年20戸以上の農家に延べ人数で70名以上の学生が参加しているほか、事業終了後に農業アルバイトとして直接雇用されている学生も多数いることから、学生と農家の相互理解が進展しています。

卒業後は名寄市外へ就職する学生が多いため、将来、名寄の農業・北海道の農業・日本の農業の良き理解者・支援者となってくれることを期待しています。

#### 連絡先

代表者名：今野 聖士さん／設立：2017年／会員：60名

住所：北海道名寄市西四条北8丁目1  
名寄市立大学 教養教育部 今野研究室

電話番号：01654-2-4194

FAX：01654-3-3354

E-mail：m-konno@nayoro.ac.jp

URL：



製造販売している大豆コーヒー

「わが村は美しく一北海道」運動第11回コンクール応募団体

**辰巳農園**

**【上川町】**

安全で責任ある農産物生産と持続可能な農業を実践する

### 【はじまりは？】

地域の特産物として、もち米、そば、有機質肥料を使ったスイートコーン、大豆のコーヒー、納豆、豆腐、ビーツのヨーグルトムースなど多くの農産物や加工品を作っていました。

また、令和5年からは、自家で生産したもち米を使った大福やおこわなどを提供する店舗「もちごやマム」（マムとは菊と母の意）を営業しています。

### 【おもな活動】

秋に実った黄金色の稲穂はそれだけでとてもきれいな景観ですが、それに加え、昨年は道路沿いにひまわりを植えて景観形成をしました。

また、自家製の大豆を使用した大豆コーヒーを「from K」という団体名で町内外のイベントに出店し、そこでのつながりを地域に持ち帰っています。団体名の「K」は、「上川」「菊水」を意味します。

「もちごやマム」は青い外壁が特徴で、特に営農期間外は殺風景になりがちな農村風景に彩りを添えています。

おかげさまで地域内外たくさんの方にご利用いただいているほか、地域の子どもたちへ餅つきなどの体験の場を提供するなど、新たな交流を生み出すことができていると感じています。

### 【ここが自慢】

我が家で採れた大豆のくずやもち米の米ぬか、もみがらなどを混ぜて発酵させて作る、自家製「有機質ボカシ肥料」を使用したコーンは、「頑固オヤジのパンチコーン」として、ふるさと納税の返礼品になっています。

この名前は開発当時、パンチパーマだったことに由来しています。

豊かに実ったとうきびは、日中の寒暖差が激しい上川町ならではの気候も相まって、非常に甘みの強いコーンに仕上がります。



頑固オヤジのパンチコーン

### 連絡先

代表者名：辰巳 真さん／設立：1983年／会員：4名

住所：上川郡上川町字菊水 505番地11

電話番号：01658-2-3713

FAX：01658-2-3713

E-mail：hir0178@yahoo.co.jp

URL：